

科目名	経済学 A Economics A	科目コード	40441
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）、鈴木 敏紀（元上越教育大学教授）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義30】
教科書	青才高志編著『現代経済の解説』御茶の水書房（2010）、西川潤著『世界経済入門』岩波書店
補助教材	プリント、ビデオ、ウェブ、プレゼンテーション
参考書	授業中に指示

### 【A．科目の概要と関連性】

日本の様々な経済問題を確認して、社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察し、社会経済についての alternative な市場至上主義的でない諸理論を、特に社会系在学系統の理論を検討する。これは社会システムの経済構造分析の確立につとめることである。さらに社会民主的、自由主義的、市民連帯的な福祉国家体制を検討し将来のあるべき社会体制を展望する。

グローバル化と地域化を概観し、世界貿易、多国籍企業、国際通貨体制、人口・食糧・エネルギー・資源の問題、環境問題、南北問題、地域紛争問題を考察する。

関連する科目：法学、社会学、歴史学（以上前年度履修）、経済学B（後期履修）

### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
現代の社会経済の基本構造についてのキーワード、概念、論理、理論を理解する。	20%	(a1)
グローバル化と世界経済の構造、およびそこから生成する諸問題を理解する。	30%	(a1)
外部と関係する経済学の現代的社会的な意味を把握する。フェミニズムやジェンダー、福祉国家論などの意味を把握する。	50%	(a1)

### 【C．履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験【60%】、レポート等【40%】

【E . 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	ガイダンス：市場経済と外部の学説、グローバル化と福祉国家	担当：佐藤
2	福祉国家の再編	担当：佐藤
3	福祉国家論の開拓者：ウェップ夫妻について	担当：佐藤
4	グローバル化と地域化	担当：鈴木
5	貿易の流れと自由貿易協定	担当：鈴木
6	多国籍企業と海外投資	担当：鈴木
7	国際通貨体制と円	担当：鈴木
8	グローバル市民社会と資本主義の変貌、まとめと試験	担当：鈴木
9	日本経済のあゆみ	担当：佐藤
10	日本の産業システムと経営システム	担当：佐藤
11	金融システムの変容と金融の再編	担当：佐藤
12	情報化と経済・社会の変容	担当：佐藤
13	資源・環境問題	担当：佐藤
14	労働と格差	担当：佐藤
-	前期末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	担当：佐藤